

**2025（令和7）年度
特定非営利活動法人アートNPOリンク 事業報告書**

特定非営利活動法人アートNPOリンク

1. 事業の成果

今年度はフォーラム事業、調査研究事業、コーディネート事業を展開した。

2. 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

ア. 芸術・文化およびそれに関連するフォーラム事業

2024年度の神戸での開催をふまえて、社会とアートの関係を問い直す機会となるフォーラムのあり方を調整し、2026年度以降の開催の調整を続けた。

このほか「毎月第1木曜日朝7時半のミーティング」として、理事及び会員を対象に、任意参加でカジュアルな月1回の定例ミーティングを実施（原則として、毎月第1木曜日の朝7時半から8時半）。2026年3月の回で55回を迎えた。各自の活動に関する情報交換や、アートNPOリンクの事業内容や進め方のブレインストーミング、各事業の進捗状況を共有できた。

日時：2025年4月1日から2026年3月31日まで／場所：オンライン／従事者人員：1人／受益対象者：のべ101人／支出額：0円

イ. 芸術・文化およびそれに関連する国際交流事業

該当事業なし。

ウ. 芸術・文化およびそれに関連するワークショップ事業

該当事業なし。

エ. 芸術・文化およびそれに関連する情報収集・発信・調査研究事業

2018年度から7年目となる一般社団法人楽友協会おきなわによる「音楽体験を通じた不登校児童・生徒の社会的接点をつくる音楽プログラムの検証に関する調査」を行った。また、今年度初めての取組として、一般社団法人琉球フィルハーモニックによる、障害のある方もない方も、子どもも大人もみんなで音楽を楽しめる『美らサウンズコンサート2025』の評価業務を行った。アートNPOによる芸術・文化事業や文化施設運営の成果の検証と評価に関わる調査研究にネットワークを広げ、アートNPOのエンパワーメントにつなげることができた。

日時：2025年4月1日から2026年3月31日まで／場所：オンライン等／従事者人員：2人／受益対象者：のべ2法人／支出額：450,124円

オ. 芸術・文化およびそれに関連するコーディネート事業

厚生労働省「障害者芸術文化活動普及支援事業」連携事務局を前年度から引き続き担い、全国各地の福祉系・アート系団体とのネットワーク構築を行った。主に各都道府県の障害者芸術文化活動支援センター、広域支援センター、都道府県の事業担当者向けとなる全国連絡会議や、広域センターミーティングの運営などを行った。本年度から、全国すべての都道府県で支援センターが設置され、事業の画期となった。

今年度は「ながさきピース文化祭 2025（第 40 回国民文化祭・第 25 回全国障害者芸術・文化祭）」が開催される長崎県の出島メッセ長崎を会場としたシンポジウム「障害者による芸術文化活動を支える取組～文化施設・美術館との連携から考える」（登壇：青井 美保、岩切明日香、添嶋麻里、樋口龍二／進行：大澤寅雄）をあわせて行った。

福祉領域で活動する団体とアート分野の団体、双方の架け橋となる立場で活動を行うことで、今後のアートNPOの社会的ポジションの確立に向けて前進することができた。

日時：2025年4月1日から2026年3月31日まで／場所：アートNPOリンク事務所等／従事者人員：4人／受益対象者：都道府県支援センターおよび広域支援センター等／支出額：19,020,908円

カ. 労働保険の保険料の徴収等に関する法律第4章の規定による労働保険事業組合としての業務

該当事業なし。

キ. その他、目的を達成するために必要な事業

該当事業なし。

(2)その他事業

なし。